

# 長与町版 架け橋期カリキュラム【スタートカリキュラム】 (小学1年生)

小学1年生



時期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
児童の姿ほ・し・かい	知識及び技能	相手との関わりを考えながら、自分の思いや考えなどを相手にわかるように伝える。/相手が伝えたいことを認め、自分の思いや考えを伝える。											
	思考力・判断力・表現力等	園での生活や経験を生かし、友達と協力して学び合う。/自分の思いや考えを工夫して表現する。/友達の良さや違いに気づき、伝え合う。											
	学びに向かう力・人間性等	自分でできることや新たな活動に楽しみながら進んで取り組もうとする。/学習や生活の目標に向かって、意欲的に活動に取り組もうとする。/進級に期待をもち、主体的に生活しようとする。											
取り組む活動 (生活科を中心に)		【4~5月】 いくぞ! がっこうたんけん	【5~9月】 わたしのはなを そだてよう	【6~7月】 なつとなかよし	【9~10月】 生きもの大すき	【10~11月】 あきとなかよし	【11~12月】 じぶんでチャレンジ 大きくせん	【1~2月】 ふゆとなかよし	【2~3月】 もうすぐ2年生				
指導上の配慮事項	教員のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人と関わる活動を位置付けたり、環境を工夫したりすることで、新しい友達と交流できる場面を増やす。</li> <li>●子どもと一緒に学校を探検しながら、そこにいる大人、上級生と話すように促す。</li> <li>●行ってみたい場所や確かめたいことがある話を取り上げ、友達と一緒に探検することを促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●花を育てるために、継続する活動の必要性に気付かせ、園での経験を生かしながら、自分たちで係の仕事（お世話の仕方）を考えさせ、活動を充実させる方法を話し合わせるようにする。</li> <li>●友達の世話の仕方と自分の世話の仕方を比べたり、話をしたりしながら、教員が記録カードに書き添えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●園での経験を想起させ、安心して活動できるよう声かけを行う。</li> <li>●夏休みにも継続して観察できるように、ワークシートを配布し、色ぬり（シール）ができるように準備する。</li> <li>●夏の校庭に出て、春の様子との違いに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生きものを見つけたら、飼ったりする経験を通して、感じたことを伝え合う場を、他教科（国語）に位置付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子ども同士が互いの考えを話し合えるように、グループ（2~3人組）学習を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●様々なことに挑戦して、できるようになったことが増えた今の自分と以前の自分を比較させ、自分自身の成長や達成感を感じることができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●冬の遊びを紹介する際には、いくつかの発表方法を考えさせ、選択することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1年前に、今の2年生に優しく迎えてもらった時のことを思い出させて、自分の成長を感じられるように支援する。</li> <li>●友達との相互評価の時間を十分に確保する。</li> <li>●自分たちの成長を振り返り、2年生進級への喜びや期待をもたせるため、一人一人の成長を価値付けられるようにする。</li> </ul>	<p>●園での経験を想起させ、みんなが楽しめるルールを話し合わせるようにする。</p>			
	環境（もの・こと）の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆入学式等の写真や入学式で関わってくれた先生などの写真を準備し、見せる。</li> <li>◆自分たちで場所を探しながら、活動できるように、イラスト等で示した部屋の名前を貼っておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆植物の成長を記録カードやタブレット端末で写真撮影をし、どこが変わったかを捉えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆道具の使い方を提示しておいたり、場の設定を視覚的に示したりすることで、安心して活動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆図鑑や写真、動画等を見せ、イメージを広げることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆夏と秋の校庭の写真提示し、変化を視覚的に捉えることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆お手伝いカードを使って、意欲的にお手伝いができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆冬の自然物や年中行事、遊びについての写真や動画、図鑑、絵本などを見せ、イメージを広げることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆入学した時の写真等を準備し、見せる。</li> <li>◆1年間の成長の記録や行事写真等を準備し、振り返ることができるようにする。</li> </ul>				
幼児期のおわりまでに育てほしい10の姿	1 健康な心と体      2 自立心      ★ 3 協働性      4 道徳性・規範意識の芽生え      5 社会生活とのかかわり 6 思考力の芽生え      7 自然との関わり・生命尊重      8 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚      ★ 9 言葉による伝え合い      10 豊かな感性と表現												
幼保小連携		・連携推進協議会	・学校訪問		・園訪問								・園との交流 ・園訪問 ・連携推進協議会
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育てや子どもとの関わり方についての悩みを受け止められる関係を築いていく。</li> <li>●同年代の子どもを持つ親同士で、子育ての悩みを言い合ったり、情報交換をしたりする機会を作る。</li> <li>●幼児教育と小学校教育のつながりや「架け橋期カリキュラム」等についての理解の促進を図る（学校通信、ホームページなどで周知、啓発）</li> </ul>												